

座談会

福崎町制施行60周年記念

みんなであつくる

福崎町の未来

今年5月に町制60周年を迎える福崎町。今後、より良いまちにしていくには、何が必要なのでしょう。住民の皆さんと町長がまちの未来を語り合いました。



福崎町区長会
みわ かず あき
三輪和昭さん

福崎町女性委員会
にし い ひろ こ
西井裕子さん

福崎町長
はし もと しょう ぞう
橋本省三

福崎町商工会 青年部
おの う え ゆう き
尾上結希さん

高岡幼児園保護者会
しば た たか よ
柴田宝代さん

神戸医療福祉大学教授
あだち やす のり
(進行)足立泰紀さん

ここに住む
一人ひとりが
主人公!



魅力がいっぱい 私の福崎町自慢

足立 今日皆さんと福崎町の未来について語り合っていたと思います。まずは、お一人ずつ日頃感じておられる福崎の魅力についてお聞かせください。

三輪 七種地区や日光地区をはじめ、自然環境の良さは福崎の一番の魅力だと思います。スポーツができる場所も多いですね。鉄道と道路の利便性や、工業、商業、農業がバランス良く発展してきたことも福崎ならではの魅力です。今後はJR福崎駅周辺の整備がまちの発展の原動力になるのではないかと期待しています。

西井 福崎には長く暮らしていますが、本当に住みよいまちだと思います。鉄道も道路も便利です。県外の友人にも「福崎」と言うとすぐに分かってもらえます。学校施設も整っているので、2人の子どもたちを安心して育てることができました。学校給食も満足できるものでした。

尾上 福崎の魅力は、やはり自然でしょう。どこにも負けない景色だと思えば、日光寺山山頂からの眺めです。日光寺はうちの工務店の初代が建立したものです。ここから見晴らす播磨平野や瀬戸内海は本当に美しいです。また、豪華な屋台が登場する秋祭りも福崎の大きな魅力だと思います。

柴田 もちむぎ商品のおいしさも福崎の魅力ですね。町外の友人や知人にも好評です。

尾上 商工会青年部でも、もち麦を使った商品の開発をしています。ラーメンやカレーを開発したので、そのPRを頑張っているところです。健康にも良いので、たくさんの人に食べてもらいたいと思っています。

柴田 町立図書館もすごくいい施設だと思います。子どもたちもよく利用して、たくさん本を借りています。



国男少年が海を見たという日光寺山からの眺め





「住民の皆さんが主人公」 橋本町長

足立 町長はどんなまちにしたいとお考えなのですか。また、今後どのような思いを持って町政に取り組まれますか。
橋本 少子高齢化と人口減少に対応した町政を行っていきたくと考えています。基本は住民参加といいますが、住民の皆さんが主人公となるまちづくりをしたいと思えます。とくに、子育て支援や産業振興、駅周辺の整備、観光振興、防災対策には力を入れていきます。
子育て支援では、中学3年生までの医療費を所得制限なしで無料にします。保育所、幼稚園に関しては、公立4園と私立2園がすべて幼保連携型認定こども園に移行しました。子育て世帯の皆さんにはより利用しやすくなつたと思います。就学前教育にも3歳児から取り組んでいます。



「女性の視点で問題提起」 西井さん

のですが、用事ができた時には時間を延長して見てもらったりしています。そういったサポートはとても有り難いです。
三輪 子育て支援に関しては、例えば幼稚園に英語の先生を配置するといったことはできないのでしょうか。国際化が進んでいるので、小さいうちから異文化に触れておくというと思うのですが。
橋本 小学校と中学校には教育委員会がALT（外国語指導助手）を配置しています。今のところ幼稚園までは計画して



福崎町第5次総合計画に挙げていますが、町が目指す将来像は「活力にあふれ風格のある 住みよいまち」です。福崎町は今年5月に町制施行60周年の節目を迎えますが、これからますます誰にとっても住みよいまちにしていきたくと考えています。

足立 住民参加がまちづくりの基本のことですが。
橋本 参画と協働というところで、住民の皆さんと町と一緒に良いいまちをつくるっていきたくと考えています。まちの根幹は、住民の皆さんの幸せにあります。一人ひとりがいきいきと過ごすことができ、集落が元気であれば、にぎわいが生まれ、それがまち全体の活力につながります。

足立 まさに住民一人ひとりが主人公ということですね。では、住民の皆さんは実際にどのようにまちづくりに参加されていますか。
西井 福崎町女性委員会で活動しています。委員会の中で小さなグループをつくって話し合い、女性、主婦、母親の立場からさまざまな問題提起をしています。「子どもが通るあの道は危ない」といった身近に感じたことを町に伝えて改善していけるのは、とても有意義だと感じています。

子どもたちも高齢者も

安心して住みやすいまちに

いませんが、いづれ必要になるかもしれないね。

足立 子育てに関しては、住民アンケートでも評価が高いですね。多くの人が「子育てがしやすいまち」と回答されています。今後さらに充実していくといいと思います。

三輪 町内の出生率はもつと上がってほしいです。全国平均を少し上回っているものの、例えば3人目からは毎年50万円を支給するなど、思い切った少子化対策はできないのでしょうか。
柴田 保護者としては毎年まとまった額を支給してもらえるのはうれしいです。

橋本 そこまではなかなか難しいものがありますが、保育料は3人目以降は無料にしています。今後は1人目、2人目も含めて検討して、子育て世帯をしっかりと応援したいと考えています。一方で、子

まちづくりには 参画と協働が不可欠

三輪 私が住んでいる大門地区では、自分たちで地域づくりをしようという、花いっぱい運動や餅つき大会をやっています。先日は初めて防災訓練を行いました。あいにくの雨の中、800人もの方が参加してくれました。災害はいつ起きるか分かりません。いざという時に役立つよう、普段から地区全体の防災意識を高めておきたいと思っています。

尾上 青年部では毎月第2火曜に、青色パトと徒歩による防犯パトロールを実施しています。ニュースでは毎日のように悲惨な事件が伝えられていますが、地域

「自分たちで地域づくりを」 三輪さん



の目を光らせることでこうした事件を未然に防ぎたいと考えています。
柴田 高岡幼稚園では保護者会で廃品回収をして、いただいたお金を子どもたちのために使っています。保護者の皆さんはもちろん、地域の方も協力的でうれしく思っています。家庭教育学級として、親子体操やコサージュづくり教室なども開いています。

足立 福崎町唯一の大学として、神戸医療福祉大学でも「ふくさきマラソン」を通じて健康づくりのお手伝いをしたり、公開講座を開いたり、さまざまな形で地域貢献に取り組んでいます。まちづくりへの参加の仕方はいろいろありますね。

医療費の無料化、認定こども園への移行など、子育て支援が進んでいるとお話がありました。子育て中の方から見た印象はどうですか。
柴田 確かに福崎は子育てがしやすいまちだと思います。中学3年生まで医療費が無料というのはすごく助かります。とくに小さいうちは病院にかかる機会が多いので安心です。幼稚園と保育所の一体化も助かりました。私は仕事をしていない



「子育てがしやすいまち」 柴田さん

どもができなくて困っているご夫婦のために、不妊治療の支援にも取り組んでいます。

尾上 子どもの声があふれる元気なまちはいいですね。安心して子どもを育てられるといいと思います。

橋本 安心と安全は重要なキーワードです。防災対策はインフラの整備と体制の強化を並行して進めています。例えば、普段はスポーツやレジャーの場として使われているさるびあドームは、災害時には避難物資の拠点となるよう整備しました。緊急時の電気設備も整っているの

で、万一の時には災害対策の基地として使えます。
尾上 消防団の団員も頑張っています。福崎の消防団は全国消防操法大会で優勝を果たしたことがありますし、チームワークも良いです。私自身は数年前に退団しましたが、今も若手の団員にアドバイスしたり、応援したりする機会があります。まちの安全には消防団も大いに貢献していると思います。
橋本 安心という面では、高齢の方を対象にした取り組みも進んでいます。介護予防のふくろう体操や、交流の場を提供するふれあい喫茶、ミニデイサービスなどを実施し、継続的に生活支援を行う地域包括ケアシステムの確立も進めています。いくつになっても毎日を元気に過ご



西部子育て学習センター主催の親子グループ活動



整備が進むJR福崎駅周辺

西井 駅前安全で便利なロータリーができると思います。電通学のお子さんを送迎するお母さんにとって、スムーズに通行できる道路やロータリーはすごく重要。駅へのアクセスが快適になるとうれしいです。

柴田 福崎駅を利用する学生は多いですからね。車での送迎が安全にできるのはもちろん、歩道も安心して歩けるようにしてほしいです。今まで以上に使いやすいく駅になることを願っています。

足立 間もなく町制60周年。さまざまな記念事業が行われると伺っております。

三輪 さるびあドームでのイベントや田

もつと元気な福崎へ

駅周辺の整備にも期待



「大学もまちの一員」足立さん

園アートの実施など、記念事業検討委員会の委員長としていろいろ提案させてもらいました。

橋本 いいアイデアをたくさん提案していただきました。住民の皆さん手作りの取り組みもどんどんやっていただければと思っています。

また、今後一層良いまちにしたいために、職員には日々研鑽に励んでほしいと伝えています。もちろん私自身もそうです。住民の皆さんと一緒に、「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち」を目指していきたいと思えます。

足立 一人ひとりが考え、行動することが福崎町の明るい未来につながりそうですね。本日はありがとうございました。



まちの歴史を築いた文化と産業を守り伝える

しているところです。

西井 古いものはいつたん失ってしまうと取り戻すことができません。大事に守ってほしいです。

橋本 文化活動では、エルデホールもどんどん活用してほしいと考えています。サインウエイの素晴らしいピアノがあり、本格的な音響設備も整っていますから。

三輪 文化センターなど、町内の文化施設のバリアフリー化も進めていただきたいです。高齢者や障害者もつと気軽に

「事業を通じて地域貢献」

尾上さん



足立 豊かな文化が育まれてきた一方で、さまざまな産業も発展してきましたね。

橋本 農業に関しては、農業振興区域をつくって振興を支えてきました。生産から加工まで手掛ける6次産業の担い手育成にも取り組んでいます。工業団地の整備や企業の誘致によって、工業も町の産業の柱になりました。

尾上 商工会でも力を合わせて、産業振興に取り組んでいます。工業団地には町外に本社がある大手企業も立地していますが、地元の商工業者は大手に負けないサービスや製品を提供しようと切磋琢磨してきました。事業を通じて地域貢献をしたいという思いをみんなが持っています。会員同士の連携も取れているので、これからも協力して商工業の発展に努めていきたいと思っています。

西井 町外に出てしまった若い人も、仕事があれば帰って来ると思っています。働く場が増えて、若い世代が増えるといいと思います。



辻川山公園の河童の兄弟。河太郎（奥）と河次郎（手前）

足立 JR福崎駅周辺の整備事業も進んでいます。

橋本 駅へのアクセス道路の拡幅のほか、駅前には新しく観光案内所をつくって、辻川界隈への観光ルートを整備したいと考えています。姫路市とは連携中核都市圏協約を締結しましたので、播磨線を使って播磨圏の一つの核となっていきたいとも考えています。全国のモデルとなるような研究を進める予定です。福崎町の昼間人口比率は、県内一です。住む人ももちろん、ここへ来て学ぶ人や働く人も多くいます。より活力にあふれるまちにしたいために、駅周辺の整備は大きな意味を持っています。